

○水生生物モニタリング調査結果一覧（秋元湖H）

<秋元湖H 水質底質採取項目>

項目 調査地点	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
H-1	○	○	○	○	○	○

<秋元湖H 現場測定項目>

項目 調査地点	調査緯度・経度		調査日時			水質	底質				その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (°C)	泥温 (°C)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透明度 (m)
H-1 (表層)	37.6575°	140.1264°	H30.5.30	08:40	09:10	17.1	10.0	泥	7.5Y 4/2	植物片	13.5	5.0
H-1 (下層)						10.8						

<秋元湖H 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目 調査地点	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
H-1 (表層)	37.6575°	140.1264°	H30.5.30	08:40	7.3	0.7	2.4	9.7	3.8	0.03	1.2	<1	0.7	N.D. (0.0016)	0.0071	—
H-1 (下層)					7.1	0.8	3.1	9.9	3.6	0.03	1.5	1	1.1	N.D. (0.0014)	0.0043	0.0011

注) N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<秋元湖H 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目 調査地点	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E <sub>N.H.E</sub> (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm <sup>3</sup> )	粒度組成								Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)	最大粒径 (mm)			
H-1	37.6575°	140.1264°	H30.5.30	09:10	6.8	75	61.0	9.2	17.9	2.581	0.0	0.1	0.2	0.7	52.4	46.6	0.0058	2.0	29	250	1.5

注) N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<秋元湖H 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム(Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137	
H-1 H-2 H-3	湖内	37.6575° 37.6616° 37.6653°	140.1264° 140.1226° 140.1329°	H30.5.30	節足動物	軟甲	エビ	サリガニ	<i>Pacifastacus leniusculus trowbridgii</i>	ウチダザリガニ	10	0.88	成体	—	—	15.9	1.9	14	7.5
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	12	3.7	成魚	不明消化物	内臓除去	43.0	4.0	39	0.74
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Carassius auratus</i>	ギンブナ	13	2.1	成魚	不明消化物	内臓除去	42.6	2.6	40	1.1
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Cyprinus carpio</i>	コイ	1	0.33	成魚	不明消化物	内臓除去	31.1	3.1	28	1.1
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Hemibarbus barbuis</i>	ニゴイ	3	2.2	成魚	不明消化物	内臓除去	20.5	1.5	19	1.0
					脊椎動物	硬骨魚	サケ	キュウリウオ	<i>Hypomesus nipponensis</i>	ワカサギ	47	0.27	成魚	—	—	19.7	1.7	18	—
					脊椎動物	硬骨魚	サケ	サケ	<i>Salvelinus leucomaenis</i>	イワナ	6	1.8	成魚	陸上昆虫類、ワカサギ	内臓除去	52.1	5.1	47	0.27
					脊椎動物	硬骨魚	サケ	サケ	<i>Oncorhynchus masou masou</i>	サクラマス	3	0.62	未成魚	陸上昆虫類、ワカサギ、モンカゲロウ	内臓除去	42.5	4.5	38	—
脊椎動物	硬骨魚	ススキ	ツノフイッシュ	<i>Micropterus dolomieu</i>	コクチバス	4	0.65	未成魚	ワカサギ、ウチダザリガニ、モンカゲロウ	内臓除去	42.7	3.7	39	—					
H-3	流入河川	37.6653°	140.1329°	H30.5.30	節足動物	昆虫	カゲロウ	ヒラカゲロウ	<i>Heptageniidae</i>	ヒラタカゲロウ科	147	0.013	幼虫	—	—	6.1	N. D. (3.0)	6.1	—
					節足動物	昆虫	カゲロウ	フタオカゲロウ	<i>Siphonuridae</i>	フタオカゲロウ科									
					節足動物	昆虫	カゲロウ	マダラカゲロウ	<i>Drunella basalis</i>	オオマダラカゲロウ									
					節足動物	昆虫	カゲロウ	モンカゲロウ	<i>Ephemera japonica</i>	フタスジモンカゲロウ	86	0.016	幼虫	—	—	N. D.	N. D. (2.6)	N. D. (2.5)	—
					節足動物	昆虫	カワゲラ	カワゲラ	<i>Acroneuria sp.</i>	キカワゲラ属									
					節足動物	昆虫	カワゲラ	カワゲラ	<i>Calineuria sp.</i>	モンカワゲラ属	96	0.026	幼虫	—	—	2.9	N. D. (1.6)	2.9	—
					節足動物	昆虫	トビケラ	ヒゲナガカワトビケラ	<i>Stenopsyche marmorata</i>	ヒゲナガカワトビケラ									
					脊椎動物	硬骨魚	カサガ	カサガ	<i>Cottus pollux</i>	カジカ	16	0.078	未成魚	フタオカゲロウ科、トビケラ目、オオマダラカゲロウ、キカワゲラ属、ユスリカ科、カゲロウ目、フユ科	内臓除去	4.1	N. D. (3.9)	4.1	—
脊椎動物	両生	無尾	アオガエル	<i>Buergeria buergeri</i>	カジカガエル	19	0.14	成体	—	—	69.2	6.2	63	—					
粗粒状有機物	—	—	—	—	水底落葉等	—	0.17	—	—	—	18.5	1.5	17	—					
藻類・植物	—	—	—	—	プランクトン（浮遊藻類）	—	0.015	—	—	—	N. D.	N. D. (2.0)	N. D. (2.2)	—					
H-4	湖内 および 周辺河川	37.6551°	140.1181°	H30.5.30	節足動物	昆虫	カゲロウ	モンカゲロウ	<i>Ephemera japonica</i>	フタスジモンカゲロウ	395	0.031	幼虫	—	—	14.9	1.9	13	—
					節足動物	昆虫	トンボ	オニヤンマ	<i>Anotogaster sieboldii</i>	オニヤンマ	55	0.052	幼虫（ヤゴ）	—	—	26.7	2.7	24	—
				H30.5.29	節足動物	軟甲	エビ	テナガエビ	<i>Palaemon paucidens</i>	スジエビ	55	0.017	未成体/成体	—	—	13	N. D. (2.2)	13	—
					軟体動物	腹足	盤足目	カワナ	<i>Semisulcospira libertina</i>	カワナ	30	0.028	成体	—	軟体部	11.3	1.3	10	—
					脊椎動物	両生	無尾	—	—	カエル類	280	0.11	幼生（オタマシヤシ）	—	—	25.3	2.3	23	—
					脊椎動物	両生	無尾	アオガエル	<i>Rana ornativentris</i>	ヤマアオガエル	7	0.023	成体	—	—	16.2	2.2	14	—

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで漉した残留物を指す。

※6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。